



花表公園の木にセミがおり、大合唱が聞こえます。「セミの抜け殻を拾ったよ」「セミが落ちてた」と知らせてくれるお友達がいました。同じ時期に生まれ鳴き始め、短い命が終わっていくセミたちの姿を知ることができた瞬間ですね。とんぼも飛び始めました！虫が大好きな子どもたちにとってはうれしいことですね。園の玄関にメダカと鈴虫がいます。しろ組にはカタツムリの赤ちゃんがいます。小さな生き物に触れることで、命のあること、大切に育てることを学んでいけたらと思います。鈴虫は子どもたちにと小笠原先生が持ってきて下さいました。子どもたちの顔をみて嬉しそうな先生でした。感謝！

### 8月うまれのおともだち

しろ組 かとうゆい さん  
ひよこ組 かわつとうま さん

おたんじょうびおめでとう

### 今月のうた

「とんでったバナナ」  
「ありさんのおはなし」  
「キャンプだホイ」

### <8月の予定>

- 1日(火) 集金袋渡し(7月延長保育利用者)
- 2日(水) 3日(木) 集金日
- 4日(金) 給食費等引き落とし日
- 11日(金) 「山の日」につき休園
- 24日(木) 誕生日会、避難訓練
- 25日(金) 乳児保育料引き落とし日
- 25日(金) ~9月1日(金) 写真掲載★

### <き・もも組>

- |          |            |
|----------|------------|
| 体操教室     | 8月はお休みです   |
| えいごであそぼう | 22、29日(火)  |
| スイミング    | 2、9、23日(水) |

### 乳幼児の感染症について

この夏、当園でも感染症にかかったお子さんがみえ、今年は流行していると報道されています。園でも子どもたちの健康管理、安全対策には十分配慮してまいります。参考に症状の例を挙げます。

- ・アデノウィルス感染症 (プール熱) 高熱・のどの痛み・結膜の充血
- ・溶連菌感染症 発熱・のどの痛み・腫れ・舌が赤く腫れる・全身に鮮紅色の発疹
- ・ヘルパンギーナ 突然の高熱(数日続く)・のどの痛み・のどに水ぶくれ・食事が飲み込みづらい
- ・手足口病 口の中、手のひら、足の裏に水ぶくれや赤い発疹が出る・口内炎・発熱
- ・RSウイルス感染症 発熱・鼻水・咳・喘鳴・呼吸困難

※ 症状があるときは、受診をし、医師の指示に従って下さい。診断が出た時は園に連絡を下さい。

### お知らせ

- \* ホームページに園での様子を見て頂けるように動画を載せます。各クラスの生活や遊びの様子を撮りました。公開日は8月4日(金)~18日(金)です。お盆の時期をはさみますので、ぜひご家族、ご祖父母の方々とご覧になって下さい。パスワードは4日(金)にお渡しします。
- \* 保育士による写真の掲載をします。8月25日(金)~9月1日(金)です。パスワードは25日(金)にお渡しします。期間内に見て頂き、ネット注文をして下さい。
- \* きょうだいの1人がお休みした場合の帰りのお迎え時間についてですが、基本を16時30分お迎えでお願いしています。ただし、ご祖父母宅に預けている、病児保育室に預けて働いている、熱が高くて連れては迎えに行けない等事情があるときは、何時にどなたがお迎えに来るかをお伝えください。



令和5年8月号

8月に入り、本格的な暑さになりました。ほけんだより5月号で熱中症予防についてお伝えしましたが、今月は熱中症と疑われるときの対応と夏に多い子どもの事故についてお伝えします。

## <熱中症かなと思ったら>

### ●症状

**軽度**・・・右記の手当てをする

- ・気分が悪い、ぼーとする
- ・めまい、立ちくらみ
- ・手足のしびれ

**中度**・・・右記の手当てをして、すぐに医療機関を受診する

- ・頭痛
- ・吐き気、嘔吐
- ・ぐったりしている

**重度**・・・迷わず救急車を呼ぶ！

- ・意識がない、返答がおかしい
- ・けいれんを起こしている
- ・まっすぐ歩けない
- ・自力で水分が飲めない

### ●手当て

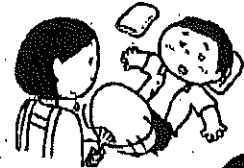
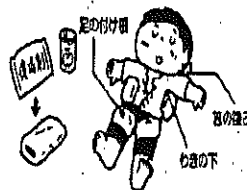
①涼しい場所へ移動させる

風通しの良い日陰や、クーラーの効いた室内など涼しい場所へ移動させましょう。



②体を冷やす

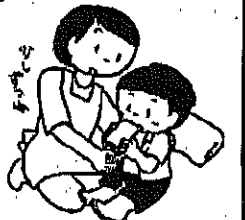
衣服を緩めて風通しをよくしましょう。保冷剤などで太い血管を冷やすことや、濡らしたタオルやハンカチを当ててうちわや扇風機等で風を送ることも効果的です



③水分が飲める場合は、水分を飲ませる。

経口補水液がおすすめです

※症状が改善しない場合や悪化していると、思う際には、速やかに救急車などで医療機関を受診しましょう。



## <夏に多い水の事故に注意を！>

夏は海や川などの水場でレジャーを楽しむ機会が増えます。自然に触れる楽しさがある反面、自然ならではの危険があります。以下、気を付けたいポイントをお伝えします。

☞海や川に行く場合は、必ずライフジャケットを着用しましょう

☞子どもは静かに溺れることもあります。常に子どもから目を離さないようにしましょう

☞事前に天気予報を確認し、海や川が荒れることが予想される場合は、予定の延期や中止を検討しましょう